第4回 日本人をささえるスギ

学習時間 30分

学習日 月 日

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

スギは日本人のくらしの中で、どのように使われてきたのでしょうか。

遠く縄文時代から、すでにスギを木材として使っていたことがわかっています。福井県三方上中郡の鳥浜貝塚遺跡からは、スギの丸太をくりぬいて作った丸木ぶねが出土しました。石器しかない時代ですから、作るのにたいへんな手間がかかったことでしょう。

弥生時代の遺跡からも、スギが使われたあとがたくさん出てきます。鳥取県鳥取市青谷上寺地遺跡や、島根県松江市の稗田遺跡、静岡県静岡市の登呂遺跡などです。登呂遺跡では、建物のゆかや柱、田んぼのかこいからスプーンまで、スギが使われていたことがわかっています。

のこぎりなどの鉄製の道具のない時代、*せきふでたたけばわれるスギは、とても使いやすい木材だったのです。

飛鳥・奈良時代になると、お寺や神社、宮殿など大きな建物が建つようになり、その建築材も、もっぱらスギでした。船や橋にも使われ、さらに大きな屋敷から小さな庶民の家もスギで作るようになりました。家具や道具にもスギ材がさかんに使われました。

時代が進み人口がふえると、天然林だけでは足りなくなってきます。（ あ ）、植林して人工林を作るようになりました。

①特に江戸時代は、木材を大量に必要とした時代でした。江戸の町では急激に人口がふえ、一七〇〇年代には百万人をこえて世界一だったようです。その住まいを建設するだけでも、木材はいくらあっても足りません。さらにひんぱんに起こる大きな火事により、町のいたるところで新しい住宅が建てられていました。

これをまかなうには、成長の早いスギが最適でした。明治、大正、昭和になっても、スギが日本の建物を、日本人の生活を、ささえ続けました。

スギを使った家具や道具は数え切れないほどあり、中でもおけやたるという道具には、日本人の知恵がこめられています。スギ板を上手に組み合わせて、たが（竹や金属でできた輪）でしめると、一滴の水ももらさない容器となるのです。

②今でもしょうゆや日本酒をつくるときには、巨大なス

今回の問題文

スギは日本人の生活にどのように関わってきたのかな。

問一 縄文時代と弥生時代の遺跡について、次の(1)・(2)の問いに答えなさい。

(1) スギを材料にしたものとして、どのようなものが遺跡から出土しましたか。次の表のA・Bの（　）にあてはまる言葉を文中からそれぞれ書きぬきなさい。

縄文時代の遺跡	・A（　　）
弥生時代の遺跡	・建物のゆかや柱 ・田んぼのかこい ・B（　　）

(2) 縄文時代や弥生時代にスギが多く使われたのは、スギにどのようなとくちょうがあるからですか。そのとくちょうを具体的に表した言葉を文中から十一字で書きぬきなさい。

□□□□□□□□というとくちょう。

問二 （ あ ）にあてはまる言葉を次の中から一つ選び、記号を○で囲みなさい。

ア ところが
イ また
ウ つまり
エ そのため

問三 ――①、江戸の町で木材が大量に必要になったのはなぜですか。文中の言葉を用いて説明しなさい。

ギだるが欠かせません。スギのかおりによってしょうゆや酒の味わいを深めると同時に、かおりの成分に抗菌作用があり、雑菌をよせつけない力があるからです。

さらにスギのかおりには、リラックス効果や疲労回復効果があるといわれています。

このように、日本人は、何千年という昔から、スギにかこまれてくらしてきました。

③神社の境内には大きなスギの木がそびえ、並木も各地に残っています。栃木県の日光や神奈川県の箱根のスギ並木は、観光地としても有名です。

また、秋田県の秋田スギや京都府の北山スギ、奈良県の吉野スギなどといった名木も多くあり、産地では、りんと美しく、天に向かうスギを見ることができます。

コンクリートにかこまれて生活することが多い現代だからなおのこと、並木道を歩くとすがすがしい気分になります。また、樹齢何百年何千年という大木、巨木の下に立つと、神々しさを感じることでしょう。実際に、ご神木（神様が宿る木）として大切にされてきたスギも各地にあります。

スギは、いつでも日本の「木の文化」の中心でした。太古から、（　い　）とともにあったのです。

問四 ――②、これはなぜですか。文中の言葉を用いて二つ書きなさい。

・

・

問五 ――③、大きなスギの木やスギ並木には、人をどのような気持ちにさせるはたらきがあるのですか。文中の言葉を用いて書きなさい。

問六 （　い　）にあてはまる言葉を次の中から一つ選び、記号を○で囲みなさい。

ア　日本人の知恵　　イ　日本人のくらし

ウ　日本の自然　　エ　日本の建物

《言葉の意味》

＊せきふ＝石で作られた「おの」。

金治直美『花粉症のない未来のために　無花粉スギの研究者・斎藤真己』（佼成出版社刊）

答えは『答えと考え方』

言葉調べ帳

問題文や設問にむずかしい言葉が出てきたら、国語辞典や漢字辞典で、意味や使い方を調べましょう。

〈このページの使い方〉

1 調べる言葉を書こう。

言葉：史実

2 読み方を書こう。

読み方：しじつ

3 出てきたページを書こう。

ページ：12

●言葉の意味：歴史のうえで、実際にあったこと。

●使い方：史実をもとにした物語を読む。

4 言葉の意味を調べよう。

5 この言葉を使って、短文を作ってみよう。

わからない言葉はそのままにせずに，調べる習慣をつけようね。

言葉

●言葉の意味

読み方

●使い方

ページ

言葉

●言葉の意味

読み方

●使い方

ページ

言葉

●言葉の意味

読み方

●使い方

ページ

言葉

●言葉の意味

読み方

●使い方

ページ